

教育目標
めざす子ども像

： 『豊かな心を持ち 共に学び合う 元気でたくましい伊尾木っ子の育成』
： (1)主体的・協働的に学ぶ子 (2)「思いやりの心」「感謝の心」「たくましい心」そして、健康な体を持つ子
(3)臆せず堂々と表現でき、コミュニケーション力を持つ子(元気にあいさつができる子)

伊尾木小学校 学校だより



なぎの木

令和8年度6月号 6月1日発行

早いもので、1学期も折り返し地点を迎えました。5月のGWが終わり、5月も学校行事が目白押しでした。

先週にはプール掃除・救急法講習会を行いました。これからは、子どもたちが楽しみにしている水泳の季節になります。6月10日にはプール開きを予定しています。これから毎日のように、子どもたちの歓声がプールから響いてくることでしょうか。朝ご飯をしっかり食べて、体調を整えて、水泳を楽しんでほしいと思います。

☆ 春の遠足 ☆

5月1日(金)
昨年に続いて、春の遠足は香南市の高知県立月見山子どもの森に行きました。ごめんなはり線でかがみ駅まで行き、駅から月見山まで歩きました。



到着後、執行委員会が用意してくれたゲームで楽しみました。縦割り班でお弁当を食べた後も子どもたちは思い思いにフィールドアスレチックなどめいっぱい活動していました。全校みんなが仲良く協力し合って過ごすという目的を達成することができた1日でした。



☆ 人権参観日 ☆

5月22日(金)5時間目、各学級で人権学習を行いました。1・4年生の学級では『ふわふわことばとちくちくことば』について学習しました。自分はどんな言葉を送ったり、言われたりしたらいいのか、についてみんなで考えを出し合いました。



5・6年生の学級では『白熱するオンラインゲーム』という動画視聴から、登場人物の心情について意見を出し合いました。そして、「自分だったら・・・」を考えていく中で、友だちとの関わり方はどうあるべきかについて学習しました。



☆ PTA人権教育研修会 ☆

人権参観授業後、高知市はまゆう研究所 横田 ■■所長をお迎えして、『ふりかえろう・・・子どもとの接し方「子どもに育てたい力」とは?』と題し、人権教育研修会を行いました。

3人ずつのグループ内での自己開示を重ねながら、子どもに育てたい力=つながり・かかわる力である、ということを実体験しながら学ぶことができました。

また、子どもの心を育てる魔法の3つのことば
「ありがとう」
「うれしい」
「助かった」



は子どもの自尊感情(自己評価の感情)を育てることにつながることで、自律する子どもを育てるには過去:「どうしたの?」→現在:「どうしたいの?」→未来:「何をしてほしいの?」のループで子どもに接していくことが大切であることを教えていただきました。約1時間があったという間に感じられる有意義な研修会となりました。

☆ プール掃除 ☆

5月28日(木)3・4時間目に全校でプール掃除を行いました。きれいになったプールでの学習が今から楽しみです。



☆ 救急法講習会 ☆

5月29日(金)5・6年生と保護者、教職員を対象に救急法の講習会を行いました。「まずは大声で助けを呼ぶ」ことの大切さについて学ぶことができました。

裏面に、6月・7月の行事予定を載せています。ご覧ください。